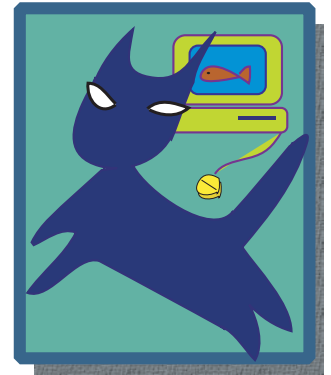


## CONTENTS

**特集**  
Special Features

## 電子政府

### e-Government

**454 編集にあたって** 大山永昭・相原健郎

Foreword Nagaaki OHYAMA (Tokyo Institute of Technology) and Kenro AIHARA (National Institute of Informatics)

**455 電子政府の現状と課題** 大山永昭

Progress of e-Government in Japan Nagaaki OHYAMA (Tokyo Institute of Technology)

## [中央省庁での事例]

**461 電子政府バージョン2へ** 牧内勝哉

e-Government, Version 2 Katsuya MAKIUCHI (Information Project Office, METI)

**468 住民基本台帳ネットワークシステムと電子政府・電子自治体** 井上源三

The Basic Residential Registers Network System for e-Government and e-Local Governments Motomi INOUE (Ministry of Public Management, Home Affairs, Posts and Telecommunications)

**473 行政手続の電子化** 由田卓也・溝上昌洋・渡辺知尚

Electronic Filing to Governments Takuya YOSHIDA, Masahiro MIZOKAMI and Tomonao WATANABE (Ministry of Public Management, Home Affairs, Posts and Telecommunications)

## [地方自治体での事例]

**476 電子市役所へのアプローチ** 廣川聡美

Approach to the Local e-Government Satomi HIROKAWA (Yokosuka City Office)

**480 電子自治体の構築に向けてー高知県の取組みー** 石川雄章

Toward the Implementation of Local e-Government - A Case in Kochi Prefectural Government - Yushou ISHIKAWA (Kochi Prefectural Government)

**484 電子協働都市の実現に向けてー札幌市の電子自治体構築の取組みー** 瀬川 誠

IT Turns to Realization of e-Collaboration City Makoto SEGAWA (City of Sapporo, Planning &amp; Coordination Bureau)

## [産業界での取組み]

**489 NICSS トークン方式を活用したICクレジットカードによる行政支払** 遠藤 力

Credit Smart Card Payment Using NICSS Token Method in Electronic Government Chikara ENDO (NTT Communications Corp.)

**494 電子自治体の早期実現に向けて** 島田 宏

For the Early Realization of Electronic Local Government Hiroshi SHIMADA (Fujitsu Ltd.)

**499 電子自治体構築に向けての技術的展望** 前田みゆき・大川義人・宮本捷二

On the Construction of Electronic Local Governments from the Standpoint of a Technical Vendor Company Miyuki MAEDA, Yoshito OKAWA and Shoji MIYAMOTO (Hitachi, Ltd.)

**解説**  
Articles**503 アジアにおける異文化コラボレーション実験 2002：機械翻訳を介したソフトウェア開発**

野村早恵子・石田 亨・船越 要・安岡美佳・山下直美

Intercultural Collaboration Experiment 2002 in Asia: Software Development Using Machine Translation Saeko NOMURA (Kyoto Univ. / Japan Science and Technology Corp.), Toru ISHIDA (Kyoto Univ. / Japan Science and Technology Corp. / NTT Corp.), Kaname FUNAKOSHI (NTT Corp.), Mika YASUOKA (Kyoto Univ. / The Univ. of Tokyo) and Naomi YAMASHITA (NTT Corp.)

## 解説 Articles

- 515 Ruby の真実 松本行弘  
The Truth about Ruby the Language Yukihiro MATSUMOTO (Network Applied Communication Lab., Inc.)
- 534 ビル制御管理システムの現状と今後の展開 櫻井智明・岡島将人  
Overview for Building Automation Tomoaki SAKURAI and Masato OKAJIMA (KeelNetworks, Inc.)

## 連載 Series

- 522 XML 誕生秘話 個人と企業 村田 真  
Inside Story of the Inception of XML : Inside Story of the Inception of XML (2) Makoto MURATA (IBM Tokyo Research Lab./ International Univ. of Japan)
- 525 日本の情報処理技術の足跡 プラグコンパティブル・メインフレームの盛衰 (3) 高橋 茂  
The Trail of the Information Processing Technology in Japan : Rise and Fall of Plug-Compatible Mainframe (3) Shigeru TAKAHASHI (Katayanagi Institute)
- 531 とつきよ Now ! これからの特許行政 佐藤伸夫  
Patent Now ! : Prospect of Patent Administration Nobuo SATO (Japan Patent Office)
- 539 プログラム・プロムナード 嘘つき島の問題 石畑 清  
Program Promenade : Liars' Island Kiyoshi ISHIHATA (Meiji Univ.)

## コラム Columns

- 512 IT ルネサンスのために：ヒューマンインタフェースの復権を マイノリティ・レポート  
土井美和子  
Toward the IT Renaissance : May "Human Interface" Emerge! : Minority Report Miwako DOI (Toshiba Corp.)
- 546 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century  
F. Rosenblatt : Principles of Neurodynamics 中野 馨  
F. Rosenblatt : Principles of Neurodynamics Kaoru NAKANO (Tokyo Univ. of Technology)
- 547 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century  
D. H. D. Warren : An Abstract Prolog Instruction Set 近山 隆  
D. H. D. Warren : An Abstract Prolog Instruction Set Takashi CHIKAYAMA (The Univ. of Tokyo)
- 548 モバイルは今 無線データ通信環境と TCP/IP の進歩 楯岡孝道  
Mobile Technologies, Now : Wireless Data Communication and TCP/IP Takamichi TATEOKA (Univ. of Electro-Communications)
- 550 日本の IT 事情 IT 国家・街のヲカシ ひろのかずお  
Information Technology in Japan : A Local City in the Wake of "e-Japan" Plan Kazuo HIRONO (Tech-Journalist)
- 552 アメリカ IT まわりの話題 イラク戦争と IT 松尾和洋  
IT Topics in the US : Information Technology on the Iraq War Kazuhiro MATSUO (Fujitsu Labs. of America, Inc.)
- 554 研究会たより 理事会と研究会 萩谷昌己  
Letter from SIG : Steering Board and SIG Masami HAGIYA (The Univ. of Tokyo)

## 書評 Book Review

- 557 文字符号の歴史 三上喜貴 著, 共立出版
- 558 Perl データマニピュレーションのテクニック集ー デイビッド・クロス 著, 宮川達彦 訳,  
ピアソン・エデュケーション

## その他

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 555 著者紹介一覧     | 565 人材募集            |
| 556 おふいすらん     | 569 有料会告            |
| 560 会員の広場      | 570 アンケート用紙         |
| 562 IPSJ カレンダー | 571 編集室/次号予定目次      |
| 564 有料会告について   | 572 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |

## 規格部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 E-mail:standards@itscj.ipsj.or.jp http://www.itscj.ipsj.or.jp/

## 支部

北海道/東北/東海/北陸/関西/中国/四国/九州

# 編集系独白

Nobel laureate 小柴先生。学生時代に物理は勉強せなんだが当時覚えた“Im wunderschönen Monat Mai”は今も言える(安田講堂で)。5月。花咲き鳥啼き人は恋う。

特集は「電子政府」(エディタ相原健郎, ゲストエディタ大山永昭)である。電子政府は市民にどう見えるか。編集子の住む市で公共施設予約システムが稼働開始。早速端末に向かったがあえなく敗退。特定のブラウザにしか対応していぬらしい。ブラウザを替えて試す。画面の誘導法にも結構問題がある。これらを惟るに官庁、自治体などでちゃんと使えるシステムが本当に用意できるのか、心配だ。

子供の頃愛読したSF, 海野十三:「火星兵団」には、火星のヒューヒューブクブクという音声と日本語音声を変換する装置が登場する。その装置のインターネット版というべき機械翻訳を使いプログラムを共同開発する実験「アジアにおける異文化コラボレーション実験 2002: 機械翻訳を介したソフトウェア開発」を野村早恵子, 石田亨他が解説した。

「ビル制御管理システムの現状と今後の展開」(櫻井智明他)は一見会誌との関係が分からぬような記事企画だが、ビル内の空調機をイーサーネットをつないで管理し始めたという話であった。ビルに計測点が45,000個所もあればIPv6が欲しくなるわけだ。

村田真の書くXML誕生秘話の2回目は「個人と企業」。XMLの規格化が最初は個人ベースで、XML 1.0 勧告の成立後は企業の主導で進んだという経過が語られる。海のものとも山のものとも決まらぬうちから積極的に参画するのは企業にとり勇気がいることなのか。

オブジェクト指向スクリプト言語「Rubyの真実」を設計者の松本行弘が寄せた。言語への思い入れが語られている。プログラミング言語は「使って嬉しい」よりアルゴリズムが効率よく考えられる方が重要だ。

日本の情報処理技術の足跡「プラグコンパティブル・メインフレームの盛衰」(高橋茂)は最終回。ダウンサイジングとオープン化の波に洗われ、PCMビジネスが終焉に向かう過程を追う。

とっきょ Now! 「これからの特許行政」(佐藤伸夫)では、特許を通しての競争力強化のため、特許の制度をどう変えていくかが具体的に述べられる。特許を得るのも時間がかかると思っていたが、今後はかなり短縮されるらしい。

名著論はその昔、第五世代コンピュータのICOTにいた近山隆が「Warrenのプロローグ用命令セット」を書く。もう一方はニューロ研究のはしり「Rosenblattのパセプトロン」で、東大工学部でパセプトロンを組み立てていた中野馨の紹介。写真の荒れは残念。

日本のIT事情はひろのかずおに、その「IT国家・街のヲカシ」を載せた。コミュニティセンターでPCの電源が貰えなかったとか。先頃の全国大会。東京工科大学のメイン会場は全席に電源とイーサーの口があった。満席時の電気容量を心配している参加者もいたが。

ITルネサンスで土井美和子は「マイノリティ・レポート」から説き起こし、システムのインタフェース設計には利用者を重視せよとのたまう。当然だ。HIで一番よくできているのは車の運転席だが、どう進化してきたのか興味がある。

TCPは低信頼性の回線でも信頼性ある通信を行うプロトコルである。しかも高効率を得られるよう巧みにエンジニアリングされている。モバイルは今は「無線データ通信環境とTCP/IPの進歩」(楯岡孝道)で、雑音の多い無線の場合にどう対処するか説明した。

松尾和洋のアメリカITまわりの話題はやはり「イラク戦争とIT」。我々にも関係浅からぬITだが、戦争で進化し、戦争で景気が支えられるのではやり切れぬ。

ニュースを見ていると、アメリカ側の発表とイラク側のそれはずいぶん違う。互いに自分が正しいと主張する戦争ならさああらん。石畑清が当番のプログラム・プロムナードでも「嘘つき島」の問題をとりあげた。「クレタ人は嘘つきだ」のクレタ島ではないようだ。(1023)



## 会誌編集委員会

### 編集長

和田 英一

### 担当理事

天野 真家

丸山 宏

### 本号エディタ

相原 健郎

石川 佳治

江崎 浩

大山 永昭

菊田 泰代

櫻田 英樹

笹氣 光一

白井 清昭

高島 洋典

前田 敦司

松尾 昭彦

森川 直人

山崎 憲一

### 編集スタッフ

後路 啓子

湯本 祐子

綿谷 亜樹

## ■ 44巻5号掲載広告目次 (五十音順)

インタフェース .....	前付 5	日本パーソナルコンピューター .....	表 2 対向
NTT .....	前付 7 下	日本バイナリー .....	前付 最終
オーム社 .....	前付 3	培風館 .....	前付 6 上
工業所有権協力センター .....	前付 7 上	富士通オフィス機器 .....	表 2
住商エレクトロニクス .....	前付 2	富士通プライムソフトテクノロジー .....	表 4
ソフト・リサーチ・センター .....	前付 6 下	三菱電機 .....	表 3
日本データパシフィック .....	前付 4	連続セミナー 2003 .....	目次前

\*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mailまたはFaxにてご請求ください。

広告総代理店 (株) 精機通信社  
E-mail: sei@ss-com.co.jp  
Fax: (03) 3368-1519